

2021年度 第7回日本脊椎脊髄病学会・日本側弯症学会合同社会保険等システム検討委員会 会議事録

日 時：2022年1月12日（水）18：00～19：00

場 所：Web Zoom

出席

日本脊椎脊髄病学会：大鳥精司（担当理事） / 遠藤健司（委員長） / 酒井義人 / 鈴木秀和 / 高野裕一 / 平井高志 / 牧 聡 / 宮城正行 / 新井嘉容 / 渡辺航太 / 辻 崇 / 平泉 裕 /
◇山縣正庸

側弯症学会：宮城正行（委員長） / 谷口優樹 / 酒井大輔 / 八木 満 / 井上 玄 / 藤田順之

欠席

種市 洋（担当理事） / 青田洋一

外保連担当

JSSR 手術：遠藤、渡邊、実務：鈴木、牧、検査：高野、平井、処置：委員長平泉、鈴木、平井、麻酔：平井、広報：高野

画像診断試案作成 WG：平井、生体検査医療材料 WG：高野

側弯症 手術：藤田、八木、実務：井上、宮城、処置：酒井大輔、検査：酒井大輔、麻酔：宮城

議事項目

1. JSSR 理事会より報告（大鳥先生）：

2024 要望については承認、グラフトンの適正使用の会員周知については内容を要検討

2. グラフトンの適正使用について（平泉先生）：

材型の違いを混同している可能性あり

単独使用しないように JOA, JSSR レターで周知

適正量については全審会でも周知の上、JSSR で周知へ

適正使用にもかかわらず査定されたときは詳記をしっかりと記載する

3. 2024 年度新規(5)、改正要望(8)、材料 (3) の選定と順位（遠藤）

資料に追記記載、次回までに再度整理する

4. 日本脊髄外科学会(NSJ)との連絡 1月21日に向けて（遠藤）

参加予定者：大鳥（欠席）、遠藤、山縣、平泉、新井、高野、渡辺、宮城

・次回委員会は 2/9（水）18：00 より zoom にて。脊髄外科学会との連絡会議を踏まえて、

2024年度の要望項目を決めていく。

資料

2022年度診療改定での要望事項

新規要望項目

- ① 自己骨髄由来間葉系幹細胞移植術(JSSR)
- ② 立位全身骨撮影 (EOS) (側弯症) : 継続要望
- ③ 立位全身骨撮影 (術前精密) (EOS) (側弯症) : 継続要望
- ④ 筋肉量測定 : 腰痛学会を通じて内保連から要望

改正要望項目

- ① 人工椎間板置換術の技術料改定(JSSR)
- ② 画像等手術支援加算 患者適合型手術支援ガイドに脊椎手術を追加(JSSR) : 継続要望
- ③ K931 超音波凝固切開装置等加算の脊椎前方手術への適応拡大 (リガシユア、ハーモニックなど) (JSSR)
- ④ 脊椎側弯症手術の注に後弯症矯正の追加(側弯症)
- ⑤ 上位頸椎加算(側弯症)
- ⑥ 椎間板内酵素注入療法の技術料改定(JSSR)
- ⑦ 内視鏡下椎弓形成術複数椎間加算(JSSR) : 継続要望
- ⑧ 通則 14 の追加 : 内視鏡下椎間板切除術、内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎弓形成術 (JSSR)

2024年度診療改定での要望事項 JSSR アンケート結果より

新規(5)

- (再手術、多数回手術加算 8 加算 (試案作成事項) : データ収集について要再考)
(骨移植を伴わない椎弓根スクリュー挿入(椎間加算あり) 2 (試案作成事項) : 手術点数に懸念あり)
- 脊髄ヘルニア 1 (試案作成事項) NSJ 相談

改訂 (8) 継続を含む

- (椎体形成と固定術の併用 4 加算 : 同一部位には一つの術式が原則)
(頸椎後方椎間孔拡大、脊柱管拡大術との併加算 2 : 同一部位には一つの術式が原則)
- 顕微鏡加算 2 NSJ に相談
(術中 CT 加算 1 (検査で試案作成事項?) : ナビとの併施はできない)

- (腰椎インストゥルメンテーション脊髄手術時モニタリング加算、対象疾患の拡大 2)
- 椎間板内酵素注入法：今回の改訂で認められなければ
(後方内視鏡下椎間固定 1：内視鏡下で完結しない、手術点数に懸念)
 - 超音波凝固切開装置等加算の脊椎前方手術への適応拡大 1

△側弯 椎体垂全摘あるいは骨切り術と側弯症・後弯症矯正固定術の併施 3：ガイドラインが無いと厳しそう

- 側弯 ロボット手術支援加算 2：新規技術と連携、試案作成検討
- 側弯 重度側弯症矯正加算(100度以上) 1
(側弯後方および側方経路椎体置換 1)
- 側弯 骨盤固定加算 2
- 側弯 頭蓋頸椎移行部固定術 NSJ と共同

継続の可能性

- 人工椎間板技術料改定
- 上位頸椎加算
- △脊椎側弯症手術の注に後弯症矯正の追加、脊柱変形手術として一括 7
- 内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算 3

材料

- ①ポリグリコール酸フェルト(ネオベールシート)の脊椎領域での償還(脳外では認められている)
- ②エアトームドリル、ボーンソーの刃、超音波骨メスのチップ 多数 NSJに相談

側弯 放射線防護手袋 多数
(側弯 ボーンミルのディスク部分)

NSJ 相談事項

- ・脊髄終糸症候群 1 (K186 硬膜内神経切断術 38670 点で可能)
- ・癒着性くも膜炎手術 1 NSJに相談
- ・くも膜下腔—くも膜下腔バイパス 1 NSJに相談
- ・顕微鏡カバー NSJに相談
- ・脊髄モニタリングの電極 NSJに相談

全審会で相談

- ・demineralized bone matrix(骨移植用コラーゲン、グラフトンなど)の適正使用の指標

- ・頰椎前方固定で骨移植が認められないことがある
- ・胸椎、腰椎手術を同時別皮切で施行したが、一方が査定された
- ・腰椎 1 椎間でクロスリンクが査定される
- ・腰部脊柱管狭窄症で椎弓形成が認められない
- ・セルセーバーの算定要件が不明瞭

NSJ アンケート

頭蓋頰椎移行部固定術			○	新規	共同で (JSSR 主導)
歯状突起切除術			○	新規	ヒアリング
髄核融解術の投与手技、増点	5				
椎間板内酵素注入療法 K134-4			○	改正	増点共同で

頰椎前方椎間孔拡大術			○	新規	共同で
脊髄動静脈奇形手術			○	新規	共同で
経皮的内視鏡手術(full-endoscopic)			○	新規	共同で (JSSR 主導) 点数は?
脊髄硬膜外腫瘍摘出術			○	新規	共同で
腰仙椎脊髄脂肪腫手術			○	新規	共同で
脊椎被裂手術 138-1			○	改正	神経処置を伴う場合の増点共同で
腫瘍脊椎骨全摘術 K136-2			○	改正	施設基準の変更、ヒアリング
椎弓形成術 (or 切除術) と髄核摘出術の合算について K142,K134			○	改正	加算ヒアリング、同一部位には一つの術式が原則